

お客さま各位

不動産クラウドファンディングシステム「fundingtool」が 住宅新報に掲載されました

J Sync 株式会社（東京都渋谷区、代表取締役：松本 英樹、以下「当社」といいます。）は、2023年3月14日付「住宅新報」の不動産テック・DXに当社の不動産クラウドファンディングシステム「fundingtool」（以下、「本システム」）が掲載されましたのでお知らせいたします。



2022年3月の本システム提供開始以来、60社を超える不動産事業者様より導入に関するお問い合わせを頂き、導入先を伸ばさせております。記事では、「eKYC」や「反社チェック」など標準搭載機能の紹介の他、想定した価格で不動産の売却が出来ない場合、あらかじめ設定した価格でグループ企業が買い取る「不動産買取保証」についても紹介していますので、是非ご覧ください。

当社は、不動産クラウドファンディングシステムの開発を通じて、クラウドファンディング市場の活性化と共に業界の健全な発展をサポートしてまいります。

【会社概要】

会社名：J Sync 株式会社

所在地：東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー7F

代表者：松本 英樹

URL：<https://www.jsync.co.jp>

【本件に関するお問い合わせ先】

J Sync 株式会社

お問い合わせフォーム：<https://www.jsync.co.jp/inquiry/>

以上

不動産テック・DX

不動産投資事業を支援

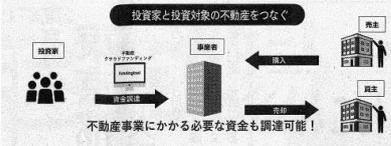
J Sync 不特法システム提供先が伸長

不動産担保ローンの日本保証などをはじめとした総合金融のJトラストグループで、システム開発のJ Syncとシエンク、東京都渋谷区は、同社開発の「SaaS型不動産クラウドファンディングシステム「fundingo」(ファンディングシステム)」の導入先を伸ばしている。22年3月の提供開始以来、全国60社を超え不動産事業者から導入に関する問い合わせを受けている。

「買取り保証も」
 更には、不動産の買取り保証も用意。想定した価格で売却を代行できない場合、グループの日本保証が事前の設定価格で買い取るため、導入企業は、投資家へ投資商品の訴求力を高められる。同システムの開発では、AWSやマネージドクラウドサービスを採用し、サーバーレス環境を整えた。同社の初期開発コストを抑え、比較的安価にサービスを提供できるようにした。

「OWNERSCOPE」
 「オーナー・ドットコム」の場も導入企業に提供し、投資家の募集も支援する。

「買取り保証も」
 更には、不動産の買取り保証も用意。想定した価格で売却を代行できない場合、グループの日本保証が事前の設定価格で買い取るため、導入企業は、投資家へ投資商品の訴求力を高められる。同システムの開発では、AWSやマネージドクラウドサービスを採用し、サーバーレス環境を整えた。同社の初期開発コストを抑え、比較的安価にサービスを提供できるようにした。



や不動産、システム開発のスペシャリストの知見やノウハウ、実務を生かしている。不動産事業者の新たな収益源として、市場の活性化や成長拡大にも貢献する。初歩的な質問や相談からでも問い合わせを受けたいと話している。